

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財)神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室
電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966
●発行者: 片 忠夫 ●編集責任: 徳本 進
http://www.sak.or.jp/

なごやかで さわやかな スキー



片忠夫新専務理事に聞く
「なごやかでさわやかな
楽しいスキー」



これまでの教育・競技両本部の事業とも、参加者・役員が一種張り詰めた雰囲気の中で運営を行っている気がします。スキーに求められるものは、いろいろありますが、これからはもっとゆっくりとのんびり楽しむスキーを見つけていきたいのです。スキーの楽しみ方に「なごやかさ」「さわやかさ」をもっと前面に出してもいいと思うのです。

それを具体化化したものが、指導員会と共同開催の「韓国ドラゴンバレー／冬のソナタスキーツアー」です。資格取得やチャンピオンシップといった緊張感とは一線を画した、「なごやか」「さわやか」な企画です。北海道ツアー、クラブ対抗大会などとあわせて、連盟の新しい流れを感じていただければと考えています。

また、山田前専務とともに、6年間

事業改革を進めてきましたが、やっと世の中の動きに追いついたという手応えがあります。これからも改革を進めていきますが、次年度以降の目標は、県連の57事業の見直し、統廃合を進め、同じ会期内で統一できる事業はまとめて効率化を図っていかれたらと考えています。

総務本部執行方針

総務本部長 上田英之



昨年度の登録人員は6000人台を保持したものの、依然厳しい状況が続いています。会員拡大のために、インターネット等で積極的な情報公開をし、スノースポーツの振興に努めると共に、会員サービスの向上を目指します。また教育本部と連携し、生涯スポーツリーダー育成、学校体育指導者へ働きかけをします。競技本部との連携では、マスターズの競技者登録の制度化などを進め、会員の拡大に努めます。財政面では、事業支出の削減による

収支均衡を目指します。また連盟の活動を支える財源の確保を進め、長期財政の安定化に向けて努力します。

ハンディキャップ行事については、tototoの補助金が減額見込みのため、それを補う財源の検討を進めます。また会員からの寄付をお願いし、ボランティア活動の財源とします。

北海道事業は、若手リーダーの活用で事業の活性化を図り、千葉県スキー連盟との合同開催を進めます。海外事業は従来の海外スキーツアーに加え、「冬のソナタ」の舞台になった韓国ドラゴンバレースキー場での行事を検討しています。

公益法人の情報公開については、役員、事業方針、予算案、事業報告、決算などの各情報の他、理事会議事録や各部活動報告など、ホームページでの積極的な情報公開に努めます。また同時に、ホームページ内でのリンクを含む協賛会員の拡大に努めます。会員の個人情報については、規約等で取り扱いを明確にし、法に準じた対応を取ります。

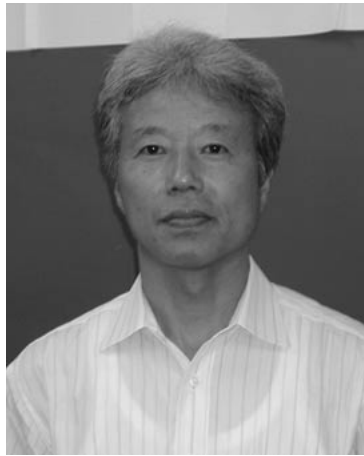
SAJ会員登録に関しては、一部改善が見られたものの、未だご迷惑をお掛けしている状況です。スムーズな登録が行えるようSAJに働きかけを行い、改善に努力します。

昨年より検討を開始した新事務所構想については財政上の問題もあります

が、会議や作業への支障も出ており、継続して検討します。

教育本部執行方針

教育本部長 渡辺 三郎



1、スキー関連

今年度は「各事業の見直し」に取り組み、各事業の充実を図っていききたいと考えています。

スノーボード事業を教育本部に加え、指導者育成、有資格者の積極的な行事参加の推進、選手強化に努力します。

①各事業の取り組みについて

・指導員会主催の「特別研究会」を教育本部の傘下へ繰り入れます。

・女性班の設定など研修会、講習会等の運営について見直しを図ります。

・レベルアップ講習会、級別テストの同時開催を検討し、参加者を増やす努力をします。

・1月の五電工行事で級別テストを開催し、検定員の資質の向上に取り組みます。

・各事業について、事業効率の向上について改善に努めます。

・生涯スポーツスキーへの取り組みを検討します。

②選手強化と育成及びスキー技術選手権大会の運営について

・全日本スキー技術選手権決勝進出を目標に、強化合宿を見直し、選手の発掘とレベルアップに努めます。

・神奈川・千葉県連共催のスキー技術選手権について運営方法の見直し、改善に努めます。

・環富士山大会は参加者が280名を超えました。今後も各県相互の選手育成に努めます。

・若手選手の育成が急務です。プライテスト等、各事業の中で参加を呼びかけ、選手発掘に努めます。

③北海道行事について

・北海道スキーツアーがマンネリ化しないよう見直しを行い、昨年以上の集客増を目指します。

④ハンディキャップスキー講習会

・HC委員会を中心に講習会、級別テストを昨年同様実施します。また、今後もHC委員会の行事運営を後押しし、連携を図ります。

⑤教育本部専門委員の活動について

・教育本部専門委員を競技大会に派遣し、大会運営などの経験を幅広く指導に活かせるようにします。

・各行事に専門委員が積極的に参加す

るよう奨励し、レベルアップを図ります。

・他県（千葉）の運営の実態把握と講師交流を図ります。

2、パトロール関連

安全に滑らせる指導・教育は今まで以上にやらなければなりません。

今年度は今までは違った啓発とアピールで、前向きに活動します。

3、スノーボード関連

指導員資格の取得、研修会、級別テスト、技術選手権大会があります。個別事業運営の充実と組織化へ更に努力します。

競技本部執行方針

競技本部長 菊地 富士夫



今期からスノーボード競技会が加わり、多種多様な事業に取り組むこととなります。競技スキー人口の減少を危機感をもってとらえ、開かれた競技会を目標にした新たな競技者の発掘を本方針として継承していきます。

選手強化を視野に入れ、時代のニーズにあった競技会及び、選手の安全を最優先した運営を目標に、携わる指導者の育成も継続して強化していきます。

1、選手強化

ジュニアの普及、育成は順調に進んでいます。今期から小学生高学年を対象に、新たに長期育成強化をスタートさせていきます。

シニア強化については、今期は特に優秀な選手の長期的な強化をはかり、安定した成績が残せるよう強化を進めます。また、ノルディック、フリースタイル、ボード各部とも、選手減少化への危機感を持ってジュニアを含み選手の発掘に努力します。

2、指導者育成

参加選手がより楽しく感じ、かつ選手の安全性を最優先したレース運営ができる指導者を育成したいと考えています。

選手強化に携わる指導者には、実力をつけるための学習 情報収集によって自己啓発を促し、質の高い指導者育成を団体協と連携して進めます。

3、大会運営

昨年テストケースとして2事業を現地委託として開催しましたが、今期は3事業を現地委託とし、レースの質を高めながら経費の削減に努めます。

各委員会1事業を目標に、協賛企業探しにも力をいれます。

SAK 平成17年度 教育本部行事一覧表

HC=ハンディキャップ参加の可否

No.	行 事 名	日 程	会 場・本 部	参加料・受講料・受検料	HC
1	研修会 理論 指導員研修会理論	16/11/13(土)	川崎市教育文化会館	研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000	
2	養成講習会 指導員養成講習会・理論1 指導員養成講習会・理論2	16/11/07(日) 16/11/14(日)	かながわ労働プラザ	受講料 ¥7,000 (2回分)	
3	車山行事 I 指導員研修会(A) 公認検定員クリニック(A)	16/12/11(土) ~12(日)	車山 SKYPARK HOTEL TEL 0266-68-2221	研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000	
4	北海道行事 指導員研修会(B) 公認検定員クリニック(B) 指導員養成講習会(A) スキー技術強化合宿(A) プライステスト(A) 県民スキースクール(A) 県民スノーボードスクール	Sコース 16/12/14(火) ~19(日) Aコース 16/12/15(水) ~19(日) Cコース 16/12/16(木) ~19(日)	京王プラザホテル TEL 011-271-0111	Sコース ¥64,000 Aコース ¥58,000 Cコース ¥49,800 研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000 養成講習会 ¥7,000 強化合宿 ¥5,000 クラウン ¥8,000(受検料含む) テクニカル ¥7,000(受検料含む)	
5	尾瀬岩鞍行事 スノーボード専門委員研修会	16/12/23(木)	未定	研修会 ¥5,000	
6	野辺山行事 指導員研修会(C) 公認検定員クリニック(C) 正指導員養成講習会(B) 対象:正指受験者のみ	17/01/08(土) ~09(日)	リゾートイン黒岩荘 TEL 0267-98-2264	研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000 養成講習会 ¥5,000	
7	五電行事 I 指導員研修会(D) 公認検定員クリニック(D) 指導員養成講習会(C) スキー技術強化合宿(B) スキー技術レベルアップ講習会(A) パトロール養成講習会(A)	17/01/14(金) ~16(日)	<スキー、スノーボード本部> ペンション ウルル TEL 0261-75-2774 <スキー強化合宿本部> アルム TEL 0261-75-2848	研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000 養成講習会 ¥5,000 強化合宿 ¥5,000 レベルアップ講習会 ¥5,000 パト養成講習会 ¥15,000	可
		17/01/15(土) ~16(日)	<パトロール本部> 太田旅館 TEL 0261-75-2128	S B 養成講習会 ¥8,000 S B 研修会-無料(登録料を含む) S B レベルアップ講習会 ¥5,000 生涯スポーツリーダー ¥5,000 別途申込みが必要	
8	車山行事 II 神奈川・千葉県スキー技術選手権 兼 全日本スキー技術選手権選考会 学生スキー技術選手権大会	17/01/21(金) ~23(日)	車山 SKYPARK HOTEL TEL 0266-68-2221 <千葉県と共催>	技術選手権 ¥7,000 学生選手権 ¥7,000	可 可
9	韓国行事 指導員研修会(E) 公認検定員クリニック(E) 指導員養成講習会(D) 県民スキースクール(B)	17/02/03(木) ~06(日)	未定	旅行代金 ¥97,500 研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000 養成講習会 ¥5,000 別途申込みが必要	
10	菅平行事 第5回神奈川県スノーボード技術選手権大会	17/02/11(金) ~13(日)	未定	SAJ会員 ¥6,000 SAJ会員外 ¥8,000	
11	車山行事 III 指導員養成講習会(E) スキー技術レベルアップ講習会(B) スノーボード指導員養成講習会(2) スノーボード指導員研修会(2) スノーボード技術レベルアップ講習会(2) スノーボード級別テスト 第5回車山チャレンジカップ大会	17/02/18(金) ~20(日)	車山 SKYPARK HOTEL TEL 0266-68-2221	養成講習会 ¥5,000 レベルアップ講習会 ¥5,000	可
		17/02/19(土) ~20(日)		S B 養成講習会 ¥8,000 S B 研修会-無料(登録料を含む) S B レベルアップ講習会 ¥5,000	
		17/02/20(日) 17/02/19(土)	指導員会主催	級別テスト-手続要領による 車山行事III参加者 ¥1,000	
12	強化行事 I スキー技術強化合宿(C)	2月中旬予定	未定	強化合宿 ¥5,000	
13	五電行事 II 指導員養成講習会(F) プライステスト(B) スキー専門委員強化合宿(A) パトロール養成講習会(B)	17/02/25(金) ~27(日)	ペンション ウルル TEL 0261-75-2774	養成講習会 ¥5,000 クラウン ¥8,000(受検料含む) テクニカル ¥7,000(受検料含む) 強化合宿 ¥5,000	可 可
			<パトロール本部> 太田旅館 TEL 0261-75-2128	パト養成講習会 ¥15,000	
14	車山行事 IV 準指導員検定会(理論・実技) B・C級公認検定員検定会(A) SAJスノーボード準指導員検定会	17/03/04(金) ~06(日)	車山 SKYPARK HOTEL TEL 0266-68-2221	準指受検料 ¥20,000 B級受検料 ¥4,000 C級受検料 ¥3,000 SB準指受検料 ¥20,000	
15	強化行事 II スキー技術強化合宿(D)	17/03/06(日) ~09(水)	ひふみ荘 TEL 0261-75-2158	(全日本出場選手)	
16	全日本行事 全日本スキー技術選手権大会 SAK専門委員強化合宿(B)	17/03/09(水) ~14(月)	ひふみ荘 TEL 0261-75-2158	(全日本出場選手)	
17	五電行事 III 第4回環富士山スキー技術選手権	17/03/19(土) ~20(日)	ペンション ウルル TEL 0261-75-2774 静岡、山梨、千葉県と共催	技術選手権 ¥5,000	可
18	車山行事 V 指導員研修会(F) 公認検定員クリニック(F) B・C級公認検定員検定会(B) スキー生涯スポーツリーダー講習会(B) 障害をもつ方のためのスキー教室(第6回)	17/03/26(土) ~27(日)	車山 SKYPARK HOTEL TEL 0266-68-2221	研修会-無料(登録料を含む) 他県連 ¥4,000 クリニック A級 ¥3,000 B・C級 ¥2,000 B級受検料 ¥4,000 C級受検料 ¥3,000 生涯スポーツリーダー ¥5,000 別途申込みが必要	可
		17/03/26(土)		S B 研修会無料	
19	海外行事 アラスカスキー	17/03/14(月) ~22(火)	未定	旅行代金 ¥268,000	

平成17年度 競技本部行事計画

HC=ハンディキャップ参加の可否

No.	行 事 名	会 場	期 間	HC
1	第3回チャレンジカップ第1戦 野辺山大会	長野県・野辺山	16年12月17日(金)~12月19日(日)	
2	第63回神奈川県スキー選手権・ノルディック	新潟県・池の平	17年1月2日(日)~1月3日(月)	可
3	南関東ノルディック競技会 兼 第60回国体スキー競技会神奈川県選考会 兼 第27回神奈川県民大会	新潟県・池の平	17年1月21日(金)~1月23日(日)	可
4	第6回クロスカントリーマスターズ選手権	新潟県・池の平	17年1月21日(金)~1月23日(日)	可
5	第3回神奈川県マスターズ選手権 第1戦	新潟県・上越国際	17年1月21日(金)~1月22日(土)	
6	第6回神奈川県ジュニアスキー大会	新潟県・上越国際	17年1月21日(金)~1月22日(土)	
7	第60回国体スキー競技会神奈川県選考会 兼 第27回神奈川県民体育大会	新潟県・上越国際	17年1月22日(土)~1月24日(月)	可
8	第22回神奈川県スキー選手権・スピード系	新潟県・上越国際	17年1月24日(月)~1月25日(火)	
10	S A J B級公認第6回神奈川県モーグル競技会	長野県・さのさか	17年1月23日(日)~1月24日(月)	
11	第3回チャレンジCUP第2戦 岩岳大会 兼 ハンディキャップチャレンジカップ 兼 第6回クラブ対抗スキー大会 兼 第3回神奈川県マスターズ選手権 第2戦	長野県・岩 岳	17年1月28日(金)~1月30日(日)	可
12	第63回神奈川県スキー選手権・技術系 兼 神奈川県ジュニアスキー大会	新潟県・上越国際	17年3月4日(金)~3月6日(日)	可
13	第2回歩くスキーバスツアー	長野県・霧ヶ峰	17年3月26日(土)~3月27日(日)	可
14	第3回チャレンジカップ第3戦 野辺山大会	長野県・野辺山	17年4月1日(金)~4月2日(土)	
15	トーエルカップ・スキーフェスティバル	長野県・野辺山	17年4月3日(日)	可
16	第6回クラブ対抗駅伝競技会	神奈川県・相模原	17年5月15日(日)	

通常競技力向上・普及事業

1	ノルディック合宿兼 フレッシュマン講習会	新潟県・池の平	16年12月29日(水)~1月2日(日)	可
2	ノルディック夏季ローラー講習会	神奈川県・相模原	16年9月18日(土)~9月20日(月)	
3	アルペン ジュニア総合合宿(Ⅰ)	長野県・野辺山	16年12月28日(火)~12月30日(木)	
4	春季アルペン ジュニア総合合宿(Ⅱ)	秋田県・八幡平	17年4月28日(木)~5月4日(水)	
5	モーグルキャンプ	長野県・さのさか	17年1月22日(土)~1月23日(日)	

競技力向上・選手強化対策事業

1	アルペン夏季合宿	群馬県・水 上	16年10月予定	
2	アルペンジュニア合宿	長野県・野辺山	17年3月予定	

国体・県総体

1	第60回国体選手強化合宿	岩 手 県	17年2月予定	
2	第60回国民体育大会	岩 手 県	17年2月22日(火)~2月25日(金)	
3	第56回神奈川県総合体育大会スキー競技会	長野県・五 竜	17年2月25日(金)~2月27日(日)	

南関東ブロック主催・共催事業

1	南関東ノルディック競技会 兼 第60回国体選手強化合宿 兼 第27回神奈川県民体育大会	新潟県・池の平	17年1月21日(金)~1月23日(日)	
2	(B級公認)南関東ブロック 野辺山スラローム大会	長野県・野辺山	未定	
3	(B級公認)関東選手権	群馬県・岩 鞍	未定	

後援事業

1	第42回全国中学校スキー大会 神奈川県予選会	新潟県・津南町	17年1月4日(火)~1月5日(水)	
2	第32回神奈川県高等学校 スキー大会兼全国大会予選会	新潟県・津南町	17年1月5日(水)~1月7日(金)	

育成事業

1	S A K競技技術指導員クリニック・ノルディック	新潟県・池の平	16年12月29日(水)~17年1月2日(日)	
2	S A K競技運営指導員クリニック・ノルディック	新潟県・池の平	17年1月2日(日)~1月3日(月)	
3	S A K競技運営指導員クリニック・アルペン	長野県・野辺山	17年4月2日(土)~4月3日(日)	
4	セッタークリニック・検定会・アルペン	長野県・野辺山	17年4月2日(土)~4月3日(日)	
5	競技運営管理アップデートセミナー・計算委員セミナー	神 奈 川	16年11月14日(日)	
6	指導者(コーチ)セミナー	神 奈 川	16年10月17日(日)	

スノーボード

1	FIS公認第2回スノーボードクロスジャパンサーキット焼額山大会	長野県・焼額山	17年1月14日(金)~1月16日(日)	
2	FIS公認第10回神奈川県スノーボード選手権大会(オープンクラス有り)	群馬県・尾瀬戸倉	17年1月21日(金)~1月23日(日) (17年1月22日(土)~1月23日(日))	
4	スノーボードアルペン強化合宿	菅平スキー場	17年3月5日(土)~3月7日(月)	



指導員会だより

幹事長 藤木 昇

新生二十周年を迎えて

副会長 大山 重彦



東京では真夏日の連続記録が更新されました。また、アルプスの氷河が年々その厚みを失いつつあるとか。地球温暖化の気配が現実のものとなってきたような気がします。雪を恋人に持つスキーヤーにとっては自然環境に対する大きな心配事の一つでしょう。

確かに、二十年前とは雪の量も減ってきていると言えますが、グレンデアのスキーヤーの数はどうでしょうか。

当指導員会では、二十周年を機に、これまでの事業を見直し、雪は戻せないまでも、スキー界の活性化を基本に事業を組み立てました。

「ティーチングセミナー」は、指導員として永遠のテーマである指導力の向上を目的とした新事業です。さらに、この関連事業として「屋内研修会」「雪

上トレーニング講習会」を計画しました。

「スキーと温泉を楽しむ会」は、前年の好評を引き継ぎ、草津と片品の二会場を計画しました。

九月四日の指導員総会に合わせて「創立四十五周年・新生二十周年記念誌」を発行いたします。是非ご一読の上、事業にご協力願えれば幸いです。



記念誌発行間近 乞ご期待

記念誌編集は大山編集委員長を中心に最後の仕上げに入っています。皆さんのお手元に届くのも間近です。お楽しみに！

行事一覧

ティーチングセミナー	9月4日(土)	頼りになる指導者の育成と ティーチングスキル向上
	10月23日(土)	
	11月13日(土)	
スキーの性能を生かすための コンディション (体力)トレーニング講習会	9月25日(土)	鳥浜振興会館
	10月23日(土)	
	11月14日(日)	
スキーを楽しみながら運動不足解消 屋内の雪上講習会	10月2日(土)	スノーヴァ新横浜
	10月16日(土)	
第69回 親睦ゴルフコンペ(秋季大会)	10月21日(木)	湯の花ゴルフ場
雪上トレーニング講習会 (第2回 ランクアップスキー教室)	12月11日(土)~12日(日)	奥志賀高原スキー場
草津 スキーと温泉を楽しむ会	1月23日(日)~26日(水)	草津国際スキー場
片品 スキーと温泉ツアー	2月6日(日)~8日(火)	おぐなスキー場
第24回 オール神奈川スキーヤーズ大会	2月11日(金)~12日(土)	八海山麓スキー場
第5回 車山チャレンジカップ	2月19日(土)	車山高原スキー場
エンジョイスキーin小海	3月3日(木)~5日(土)	小海リエックススキーパレー
第21回 指導員会フェスティバル	4月2日(土)~3日(日)	車山高原スキー場
第70回 親睦ゴルフコンペ(春季大会)	5月中旬	

ラシーズンは12の行事を計画

体力トレーニングから雪上まで、原点到り楽しめるスキーを一緒にどうぞ。

詳しくは指導員会HPか総会資料をご覧ください。

<http://sik.arts-k.com/vhp>

S A K ツツプ インタビュー

今期役員改選により常務理事となった三塚康雄さんにお話を伺った。

SSSチームワークと人の

「和」を大切にSSS

常務理事の任務は、専務理事を補佐することを第一に連盟の運営に当たることと考えています。ですから、専務の方針にならってこれからの連盟運営を進めていきたいと考えています。行事の役員や、専門委員が楽しまなくては、参加者は楽しめません。そのためは、チームワークや人の「和」が大切だと思っています。専務理事と各部の調整役を務めることも、大きな役割だと思っています。県連役員として2年間のブランクはありましたが、それ以前にSAJ専門委員を10期20年もやっていたので特に不安はありません。

SSSスキーとSSS

僕はここ神奈川の生れです。小さい頃から当時国鉄の職員だった父に連れられて、汽車に乗って雪国へ行き、スキーをやっていました。その頃、雪な



し県でスキーをやっている人間は珍しかったと思います。兄弟で競技スキーに親しみ、社会人になってからも国体予選などに参加していました。競技会でゴールしてもタイムが出ずにいた僕に、ブロック技術員をやれと言ったのは、当時理事長の片岡春夫さん（現顧問）でした。21歳のときに準指導員、23歳で正指導員をとり、ブロック技術員になったのは28歳のときでした。相模原市スキー協会でも20代の頃から役員をやり、80年代のスキーブームのときは普及部長をやっていました。ツアーを企画するとすぐに満員になったものです。歩くスキーも5年程前までは参加者が300名と多かったのですが、昨年は50名にまで減っていました。ただ、昨年の相模原市スキー協会50周年記念行事として、北海道ツアーを行った際には若い人たちががんばったこともあり、300名の参加者が集まりました。

SSSスキーの魅力は

アナログ的なものSSS

話は変わりますが、今の韓国が80年代のスキーブームの日本と同じような状況だと聞いています。まだそれほど所得が高くないのに、日本とは違って若者がスキーに夢中なのです。かつての日本もスキーに魅力、一種のステータスがありました。若い人たちに魅力のあるスポーツとしてのスキーというものが、やはり大事だと思います。生涯スキーとして高齢者に対するスキも必要ですが、組織としては若い人もいないと活力がなくなってしまう。ジュニアの育成も必要ですが、子供たちにはやはりスキー本来の楽しさを知ってほしいと思います。僕も子供のころからスキーと言えば競技スキーでしたが、けっして競技スキーだけという感じではなくて、ふつうのスキーの楽しみ方も知っていました。競技だけでは将来成績につまずいた時に、スキーをやめてしまってもいいかもしれません。アナログ的なもの、自然とのふれあいがあるところがスキーの魅力だと思います。

《インタビューまとめ》

広報委員長 守谷 紀幸
副委員長 中里 健二

SSSインタビューを 終えてSSS

…今日はありがとうございました。ところで、SAKだよりはご覧になっていますか？
SAKだよりは見てますよ。年1回の発行ですよ。
…いえ、年2回の発行ですけれど（笑）ホームページはよく見えていますよ。とてもアップが早いので感心しています。
…ところで、三塚さんにはスキー場でのいろいろな逸話があるようですが、荷物の整理は得意ではないですか？
僕は帰り支度は早いですよ。荷物は見ないで詰め込んでしまいますから。旅館のまくらが入っていることがありました。

●編集後記

暑かった夏もようやく盛りを過ぎて一息ついたというところでしょか。そろそろ、スキーの虫がうごめき始めた人たちも少なくないと思います。今号では、各本部の行事予定表を掲載していますので、虫さんにさらに刺激を与えてやってください。きつと、よいシーズンになると思いますよ。
今期は広報委員のメンバーも一新され（変わっていない委員もいますが）心機一転頑張っていますので、よろしくお願います。
(広報委員長 守谷紀幸)